

# き★ら★り

特集

生涯を通じた男女の健康

いま、

「健康であること」「病とともにあること」

そして、「生きること」を見つめる

平成29年版内閣府男女共同参画白書の第6章第1節には、「生涯を通じた男女の健康」が取り上げられています。我が国の平成27年の平均寿命は、女性86.99歳、男性80.75歳となり、過去最高を更新しました。しかしながら、健康寿命（健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間）は、女性が74.21歳、男性が71.19歳（平成25年数値）となっており、健康寿命をいかに延伸するかが課題とされています。

長岡京市では、団塊世代が後期高齢者に達する2025年に向け、「長岡京市健幸長寿プラン2025（仮称）」の策定を予定しており、「元気に年齢を重ねられる環境づくり」「いざという時の安心・安全の基盤づくり」など、様々な取組を進めています。

互いを理解し合い、人権を尊重しつつ、相手に対する思いやりを持って生きていくことは、男女共同参画社会を形成する基本です。他者を尊重するためには、自分が自分を「大切にすること」から始まります。まずは、自分のからだところの健康について、正しい知識と情報を入手し、主体的に行動することが大切です。それによって、誰かを大切にすることの意味、健康であることの意味と出会えるのではないのでしょうか。そして、自分らしく「生きること」についても、この機会に想いを馳せてみませんか。

## 長岡京市男女共同参画フォーラム2017

### 清水健さん講演会～大切な人の『想い』とともに～

2018 1/20（土）長岡京市立産業文化会館

13:00 開場

13:20 オープニングプログラム

- 健康医療推進室

- がん検診啓発パフォーマンス「恋するフォーチュンクッキー」

- 済生会京都府病院松田高幸さん講演「乳がんに関するあれこれ」

14:30 講演会

定員：先着200人（予約制）

託児・手話通訳・要約筆記あり

※詳しくはお問い合わせください



# 「子宮頸がん」と「乳がん」について知ろう

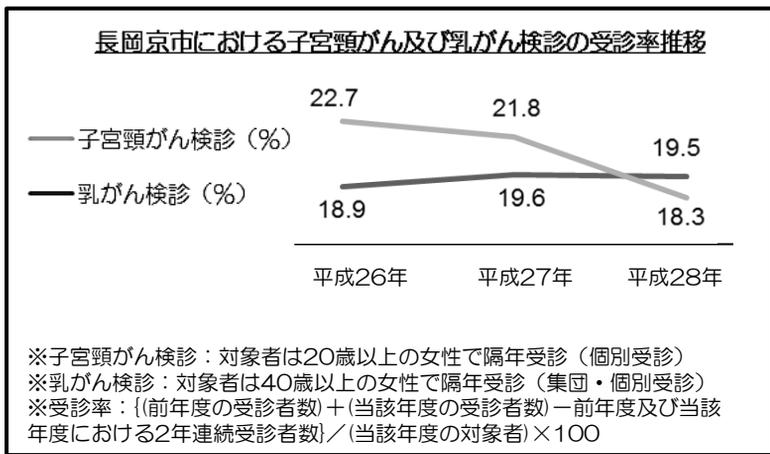
## 女性特有のがん

がんは日本人の死因第1位で、厚生労働省「人口動態統計」（平成28年）によると、年間372,986人が、がんで亡くなっています。また、生涯のうちにがんに罹る可能性は、日本人の2人に1人とされており、罹患率は男女ともに、50歳代から増加しています。「乳がん」は、女性にできるがんの中で一番多く、特に40歳代後半に最も発生が多くなっています。「子宮頸がん」は、ヒトパピローマウィルスの持続的な感染が原因となって発症し、近年、20・30歳代に増加傾向にあります。どちらのがんも、早期発見・早期治療で完治の可能性が高くなるので、検診を受けることが大切です。

## 市の検診受診率

長岡京市が実施している乳がん、子宮頸がん検診の受診率を見ると、平成28年度は乳がんが19.5%、子宮頸がんが18.3%となっています。特に乳がんは、現在では日本人女性の約11人に1人が罹患するとされており、日頃から自分の正常な乳房の状態を確認しておき、月に一度は自分で乳房にしこりがないかどうか等をチェックする習慣をつけることが大切です。

長岡京市では平成21年度から、がん検診推進事業に基づき、年度当初に新20歳の女性（子宮頸がん）、新40歳の女性（乳がん）に、それぞれ無料で検診が受けられるクーポン券をがん検診手帳とともに送付し検診受診率の向上に努めています。



## がんと就労

男女ともに子育て世代や働き盛りの世代が、がんを患い入院・治療が必要になるケースが増えてきました。また近年、入院日数が短縮され、抗がん剤治療も通院で受けられるなど、医療の状況も変わってきています。平成28年12月、がん対策基本法改正法が成立し、厚生労働省は、がんをはじめとする病気の治療と、仕事が両立しやすい環境づくりを進めています。そのイメージキャラクターが、スーツを着たウサギで、名前は「ちりょうさ」。耳には「ちりょう」と「しごと」の文字が書かれており、より働きやすい職業生活に向かって進んでいくイメージを表しています。これからは、本人が望めば「がん治療をしながら継続就労」というスタイルも、「当たり前」に選択肢として加わることが望まれています。



これはどういう意味？ <b>男女共同参画</b> <b>ワード</b>	リプロダクティブ ヘルスライツ	1994年にカイロで 開催された国際人口・開 発会議において提唱され た概念です。	WHOの定義によると 健康とは「病気や虚弱で ないというだけでなく、 身体的、精神的、および 社会的に、完全に良好な 状態であること」を意味 します。	リプロダクティブ・ハ ルスは、女性の全生涯に わたる健康の自己決定権 を保障する考え方で、リ プロダクティブ・ライツ は、それを全ての人の 基本的人権として位置づ ける理念です。	「いつ何人子どもを産 むか産まないかを選ぶ自 由」「安全で満足のいく 性生活」「安全な妊娠・ 出産」「子どもが健康に 生まれ育つこと」などが 現在の中心課題となっ ています。
---	--------------------	--	---	--	--



## 10/3(火) 女性のステップセミナー

少女たちの生と性からリプロダクティブ・ヘルス/ライツを考える

### AV出演強要とJKビジネスの現状

多くの少女と向き合ってきた講師から、危険な誘惑に陥り、犯罪被害に巻き込まれる少女たちの現状について話していただきました。



## 10/5(木) 女性活躍推進講座

### ～好き♡を仕事にする～ 先輩に聞く！プチ起業 始めてどうですか？

長岡京市商工会の「創業塾」に参加した市在住の女性から、仕事を始めるにあたり準備したこと、仕事と家庭の両立、今後の展望などについてお話をうかがいました。



## 10/13(金) 子育て支援講座

～知っておきたいお金のハナシ～

### 子育て世代のライフプラン

お金の基本（環境・整理・5大支出・必要資金）を学び、我家のライフプラン表を作成しました。



## 10/24(火)

みんなの元気力UP講座

人生の終わり方を創る

### ハッピー・エンディングの心得

これからどう生きるかというテーマについて講師の体験談などから学び、傾聴のワークによって良好な関係形成を体験しました。

## 11/7(火) みんなの元気力UP講座

「今の自分」と出会う 「今の自分」を描く

### イメージアート：セッション

気持ちの動きにまかせて紙にクレヨンやパステル、絵具で線や点を描き、心のままに「今の自分」を表現しました。



## 10/27(金) 11/24(金) 子育て支援講座

### 子育て支援塾 シャベリ場！学び場！

思春期の子育ての悩み事について、ファシリテーターを交えて、意見交換をしました。



## 11/17(金) DV・児童虐待 被害者支援プログラム

### “守りたい”子どもも私も 心に寄り添う支援とは…

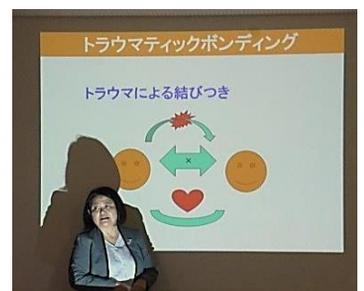
NHKドラマ「やさしい花」上映会の後、母子家庭の貧困の現状・虐待してしまう親・若年層への啓発・全ての人の心が満たされる社会の実現・支える居場所の必要性などについて学びました。



## 11/30(木) DV・児童虐待 被害者支援プログラム

### 暴力がおよぼす影響とは…

事例を挙げながら、暴力の種類、DV被害者や子どもへの影響、PTSDやトラウマケア、DV防止法などDV被害全般に関するお話をうかがいました。



# 冬の講座のお知らせ

講座に参加ご希望の方は、女性交流支援センターまで  
電話・FAX・メールなどでお申込みください。詳細はチラシをCheck!

12/19 (火)

パープル&オレンジリボンプロジェクト2017

## DV・児童虐待 被害者支援プログラム

子どもたちの未来のために ～地域における見守り支援～

[時間] 13時半～15時半 [場所] バンビオ1番館4階学習室

[講師] 向日町警察署生活安全課/NPO法人ほっとスペースゆう 申込み受付中



12/22 (金)

子育て支援塾 しゃべり場! 学び場!

第3回 変わる学校教育～そして新たな学びとは～

子育て支援講座

[時間] 19時～21時 [場所] バンビオ1番館6階女性交流支援センター交流スペース

[講師] 石井登さん(A.C.S.学院代表) 申込み受付中

2/16 (金)

メディアリテラシーにチャレンジしよう

ジェンダーの視点でメディアをチェック (仮)

みんなの元気UP講座

[時間] 10時半～12時半 [場所] バンビオ1番館6階 会議室3 [募集] 20人(長岡京市に在住・在勤・在学の方優先) [申込み] 2月1日(木)より [託児] あり(1歳から就学前まで) 2月9日までに要申込み [ファシリテーター] 男女共同参画アドバイザー(長岡京市女性交流支援センター)

3/2・9 (金)

～好き♡を仕事にする～

1回目 自分に合ったプランを作ろう! (仮)

2回目 知って安心! 起業に必要なお金のハナシ(仮)

女性活躍推進講座

[時間] 10時半～12時半 [場所] バンビオ1番館6階 会議室3 [募集] 18歳以上の女性20人(長岡京市に在住・在勤・在学の方優先) [申込み] 2月開始予定 [託児] あり(1歳から就学前まで) 各回とも1週間前までに要申込み [講師] 植田香代子さん(うえだライフマネジメントオフィス代表)

センター共催事業

## 子育てシンポジウム

悩んでもええやん 😊 それの子育てできている証拠

子どもの育ちや学びの課題、いじめ、不登校...。さまざまな生きづらさをもった子どもたちに関わる家族は、日々悩みながら、時に孤立しながら生活しています。同じような不安や悩みを支え合う『居場所』づくりに取り組む4つの団体が共同で、一緒に語り合います。

日時: 平成30年1月13日(土) 13:00～16:00

場所: 長岡京市中央公民館市民ホール

定員: 150名(予約制) 参加費: 300円

託児: 6か月～3歳 先着10名(要予約・12月28日締切)

申込み: 電話・FAX・メールにて女性交流支援センターまで

### プログラム

- 【第1部】 主催4団体からの事例報告と活動紹介
- 【第2部】 パネルディスカッション

みんなてつながり前へ進もう



### ◇編集・発行◇

長岡京市女性交流支援センター

〒617-0833

京都府長岡京市神足2丁目3番1号

長岡京市立総合交流センター6階

TEL 075-963-5501

FAX 075-963-5521

E-mail: josei-c@city.nagaokakyo.lg.jp

### ◇利用のご案内◇

☆開館時間

月曜日から土曜日

午前9時から午後5時

☆休館日

日・祝日及び年末年始

☆アクセス

JR京都線長岡京駅西口から徒歩1分

